

凡例

0～1分未満

1～2分未満

2～3分未満

3～4分未満

4～5分未満

5分以上

浸水想定ライン

※浸水開始時間とは、地震発生から浸水が始まるまでの時間をあらわします。

海抜 5m

海抜 10m

海抜 15m

海抜 20m

海抜の凡例

交番

避難時の危険箇所

行政機関

指定避難所

津波避難ビル

津波避難場所

※津波の到達時間が非常に短いため、大津波警報・津波警報を見聞きした場合は、直ちに高い安全な場所へ避難してください。

主な避難の方向

※地図上に示した海抜の線は国土地理院が提供する基礎地図情報(縮尺レベル25000)を基に作成したものです。

地震発生後 2分

地震発生後 4分

地震発生後 4分以上

こちらの面は、地震が発生してから津波が到達するまでの時間を色分けしたものです。

0

100

400m

地震が発生したらシェイクアウト(3つの安全行動)

まずは、身の安全を守ることが大事です!

ますひくく

DROP!

あたまをまもり

COVER!

うごかない

HOLD ON!

※効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議(日本シェイクアウト提唱会議)より

津波に備えて

ライフジャケット・浮き輪等の身を浮かせることのできるものが有効です。

ライフジャケット

浮き輪

サッカーボール

2リットル空ペットボトル

非常持出品の準備

リュック等に入れて、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。

貴重品

非常食

救急医療薬

懐中電灯

ラジオ

非常用

飲料水

衣類

ローソク・マッチ

タオル

ロープ

災害の状況や家族構成に合わせて、短期・長期避難の両方の災害に備えておきましょう。

とにかく海岸や河川から離れた高い場所へ避難する

水平避難

●浸水想定ライン(赤色)よりも山側へ避難するようにしましょう。

垂直避難

●浸水開始時間までに水平避難が困難な場合は、津波避難場所(埋没林博物館)等へ避難しましょう。

●自宅にいて外に出る時間がない場合は、上の階へ避難しましょう。

避難経路

●鴨川等への津波の遡上に注意しましょう。

●目標とする避難先等をあらかじめ決めておきましょう。(電柱や家屋等の倒壊により経路がふさがれている可能性があります。何通りかの避難経路をあらかじめ考えておきましょう。)

※村木・大町地区は、沿岸に住宅が多いので、速やかな避難行動が必要です。

垂直避難

水平避難